

令和7年度府中町図書ポップコンテスト

子どもの読書活動推進の一環として「令和7年度府中町図書ポップコンテスト」を開催しました。

どの作品も印象的なキャッチコピーやイラストなどを用いて、本の魅力が伝わるよう工夫されていました。

応募総数 2250 点(小学校 998 点、中学校 1252 点)の中から入賞作品(教育長賞、府中町立図書館長賞、本好き愛が伝わる賞、学校司書賞、つばき賞)を紹介します。

👑 教育長賞 👑

小学校

世界で最後の花

絵のついた寓話

この本は、第12次世界大戦のことについて書いてあります。第12次世界大戦とは、現実には存在しません。これは、ポプラ社の児童文学作品「世界で最後の花」という架空の戦争です。この本は、この架空の戦争をつかい戦争がどれだけそろったか、たかが書いてあります。ぼくはこの本をよんで世界で最後の花は世界で最後の色でもあるんじゃないかと思いました。なぜなら花には色があるけどこのときの世界に色がないと思ったからです。

村上春樹(訳)
ジェームズ・サバー



府中小学校 6年 三保祥翔



府中南小学校 5年 河角ことの

8時15分

『狭い視野で物事を 語ってもだめだ。狭い視野 こそが、世界を戦争に 巻き込んだのではないか (本文より)』

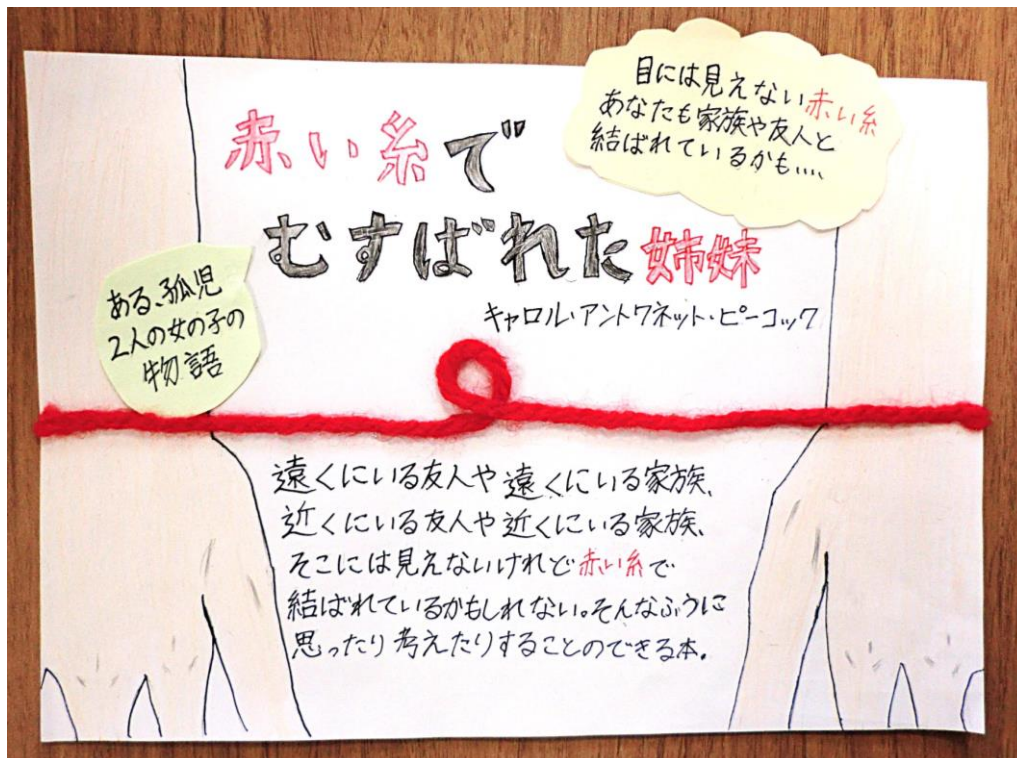
ヒロシマで生きぬいて許す心 美甘章子・作

たった1発の原子爆弾により、重傷を負った美甘進示は 放射線の影響や重度の火傷、家族を失った苦しみ、 死んだ方が楽だとあきらめかける。それでも生前の父の言葉や 友人に助けられ、強く生きぬいた進示の80年前のヒロシマで 本当にあった戦争について考えさせられる本です。



府中中央小学校 6年 池本 結芽

中学校



府中中学校 1年 坊田 結佳



府中緑ヶ丘中学校 3年 縄田 実海